

令和3年度 学校関係者評価委員会 外部委員の評価のまとめ

自己点検評価項目		平均	評価(意見)	評価結果とその背景	今後の取り組み
I. 教育目的・目標 教育理念					
教育理念・目的・目標の設定と達成	・教育上の特徴を示しているか。	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・良く分析され、取り組んでおられると思う。 ・今後も学生が意識化できるような工夫を継続して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念・目的・目標の設定と達成についての5段階評価の結果は、委員全員から4点以上評価(平均4.0~4.6)を受けた。 ・「教育理念・目的・目標の周知が図られているか」、「学生の学修指針に活かされているか」に関して評価4.0であり、学生が意識化できるような工夫が必要であるというご意見をいただいた。 ・学習の手引きに教育理念・目的・目標等示したことや協同の精神について、入学時や進級時のガイダンスで周知を図っている。また、学修ポートフォリオを活用し学修が積み重ねられるよう支援をしている。 ・令和2年度末より「期待する卒業生像」に関しては、毎年自己評価し、3年間の変化が見えるよう到達度(レーダーチャート)を可視化し始めたところである。今後も、学生が意識化できるように工夫し継続してほしいというご意見をいただいた。 ・令和4年度から開始される新カリキュラムに向け、教員間で“育てたい卒業生像”を共通認識し、教育理念、教育目的、教育目標等を見直し、「地域」をより意識した教育課程を編成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度からの新カリキュラムの実施にあたり、地域の特色などを教育内容に落とし込んだ。新カリキュラムの実施にあたり地域の協力を得るとともに、学生に興味をもってもらえるような内容にしていく。 ・教育理念等に関するガイダンスは継続する。 ・期待する卒業生像に関しては、毎年自己評価し、到達度を可視化することで意識できるよう取り組む。 ・今後、カリキュラム評価方法について検討する。
	・学生が卒業時点でどのような資質を有すべきかを明示しているか。	4.2			
	・教育理念・目的・目標の周知が図られているか。	4.0			
	・学生の学修指針に活かされているか。	4.0			
	・教師の教育活動指針に活かされているか。	4.4			
II. 学生の受け入れ					
学生募集の広報活動	・入学希望者開拓の広報活動等が適切かつ効果的に行われているか。	4.2	<ul style="list-style-type: none"> ・「学生の受け入れ」については3項目ともに4点以上の評価を受けた。 ・コロナ禍の中での広報活動には制限が多く、大規模なイベントはできないが、人数を小分けにした学校見学会を回数を増やして実施するなどの状況に合わせた活動や、高校や中学への学校訪問等の地道な活動に評価をいただいたものと考ええる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも状況に応じた方法を工夫して、安全を確保しながらの広報活動を展開していく。 ・第5次カリキュラム改正を機に、今後はアドミッションポリシーも一部改訂しての学生募集になっていくが、「看護職として地域に貢献したい」という点に、より一層の重み加わる。この点について、どのような入学生選抜をしていくか検討する。 	
入学者選抜の方針・方法	・選抜の方針・方法は教育理念・目的・目標にてらして妥当であるか。	4.2			
	・選抜の公平性が図られているか。	4.2			
III. 学生生活の支援					
学修継続への支援	・奨学金等の経済的支援について周知し、活かされているか。	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・他より学費は低いとしても、コロナ禍により厳しい状況になられたご家庭もあるかと思う。 ・「カウンセラーについては、学生にもきちんと周知し、活かされていると感じた。 ・メンタル面のサポートは、難しい点多々あると察している。早い段階でのつながりができればよいと思う。 ・コロナ禍の中、社会活動は困難であったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生生活の支援では、「社会活動の支援」の他は、4点以上の評価を受けた。「社会活動の支援」について評価が低下した理由として、委員もコメントされているように、コロナ禍による社会活動制限の影響が大きい。 ・「カウンセラーが生かされているか」について、毎年低い評価であったが、学生への周知を継続しながら、令和3年度に向けて女性カウンセラーの配置を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度には、女性カウンセラーが配置され、学生も気軽にカウンセリングを活用できている。今後も、気になる学生はカウンセラーに早期につなげ、メンタルサポートすることを継続する。 ・コロナ感染症拡大の状況と社会の動きに合わせて、学生が安全に社会活動ができるよう支援していく。
	・カウンセラーの配置等健康相談について周知し、活かされているか。	4.4			
社会的活動への支援	・社会活動等に学生が積極的に参加できるように周知し支援しているか。	3.6			
卒業後の進路選択への支援	・進路情報について周知し、適切な指導が行われているか。	4.2			
IV. 教育課程					
教育課程の編成	・教育目的・目標や社会のニーズ、学問的動向に沿った編成をしているか。	4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育課程」については2項目ともに4点以上の評価を受けた。 ・現行の教育カリキュラムに関しては一定の評価を頂いていると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から検討を続けてきた、新カリキュラムが来年度より適用される。理念が実現化するように、全教員で協力しながら教育課程を展開していく。 ・今年度の学校関係者評価委員会においてはカリキュラム評価と設計について、雑誌「看護教育」に寄稿した記事を委員の皆様方にお渡しして、意図をご理解いただくようにした。来年度の委員会においては、島根県から正式に承認を受けた新カリキュラムについて、さらに詳細に説明を行い、今後の当学院の教育に対してご理解とご協力をお願いする。 	
教育課程の見直し	・定期的に評価し、改善しているか。	4.4			

V. 教育活動・教育指導						
学 科	学習支援(ガイダンス)	・学生が学修しやすいような内容・方法で、ガイダンスを行っているか。	4.2	<p>・コロナ禍での変更・調整は大変な御苦労・御心痛だったと思うが、感染に巻き込まれることなくこなしてこれ良かったと考える。</p> <p>・今後も教員の方々が働きやすい、自己研鑽しやすい環境の調整をお願いしたい。</p>	<p>・令和2年度は、新型コロナ感染拡大にともない、4週間の臨時休校となるなど、授業の進捗が計画通りに進まなかった。</p> <p>・対応として、5コマ目を設けて対応したり、遠隔授業を取り入れる等した。また、実習も学内実習に切り替え対応した。評価委員からも困難な中、対応したことを評価頂いた。</p> <p>・「教員の教育・学習方法の工夫」についての評価が3.8であった。コロナ禍にあり、研修に出向きにくい環境であることや、コロナ対応にともなう業務の煩雑化により3.8の評価になったと考える。そのような中であって、web研修を活用し、全教員が同じ研修に参加し、学びを共有することができた。</p>	<p>・令和2年度の状況をふまえ、令和3年度からは新型コロナ感染対策等により登校できない学生とは、ICTを活用した教育支援システム(Google Workspace for Education)を積極的に活用し、自宅と学校との遠隔授業も実施できている。また、教育用電子カルテ(Medi-EYE)を活用することで、学内実習や在宅での実習にも対応している。今後も、遠隔講義や実習に対応できるようにしていく。</p> <p>・コロナ禍において発展したICTを活用し、自己研鑽を積むことも強化していく。</p>
	授業の計画的遂行・調整	・学生が学修しやすいように授業の進捗を計画調整しているか。	4.0			
	シラバスの作成状況	・学習への動機づけになるようなシラバスを作成しているか。	4.0			
	授業科目の担当・時間数	・教員の専門性が発揮出来るように担当科目と時間数を配分しているか。	4.2			
	教育・学習指導方法の工夫	・教員が授業準備の時間をとれる体制を整えているか。	3.8			
		・教員が自己研鑽し、指導方法を工夫できる体制を整えているか。	3.8			
授業評価	・教員は授業評価を行い、指導方法を改善しているか。	4.2				
実 習	学習支援(オリエンテーション)	・学生が実習しやすいような内容・方法でオリエンテーションを行っているか。	4.2	<p>・コロナ禍で実習の困難さが生じ、実習ができなかった時の、院内実習では苦勞されたと思うが、実習の重要性を学生が一番感じた点では、成長につながったのではと感じている</p> <p>・オリエンテーションの内容や実習計画・指導要項は、毎年前年度の反省をもとに評価し、改善している。こういった学校の状況を指導者会議を通し臨床側へ伝えており、双方が理解した上で指導にあたることで、実習しやすい環境が整っていることを評価されたと考える。</p> <p>・コロナ禍において学内実習に工夫を凝らし実践したことに対し、教員の努力を認めていただくとともに学生の成長につながったと評価された。</p> <p>・しかし、臨地実習における教員の専門性の発揮や、指導方法を工夫できる体制の整備については、昨年度同様他の項目より評価が低い。教員の実習指導の体制としては課題があると捉えられている。教員は学生からの評価も踏まえて実習評価を行い改善に努めているが、より良い実習指導に向けて教員個々が努力を続けるとともに、指導方法の工夫ができる体制整備の重要性が指摘されている。</p>	<p>・今後も現在と同様に、前年度の反省をもとにオリエンテーションや実習進捗・指導要項を考え、実践していく。さらに実習指導者との連携を図りながら、学生が充実した実習ができるようにともに評価し、改善に努める。</p> <p>・コロナ感染症の状況に合わせ、突然の実習方法の変更にも対応できるよう、これまで同様様々な方法を考えておく。</p> <p>・実習指導方法の工夫については、今後も各教員努力をしていく必要がある。学生のことを第一に考えた実習指導ができる教員を目指し、積極的に研修などに参加する。</p> <p>・指導者会議等を活用し、指導者・教員のお互いの状況や思いを理解するようにし、より良い連携が図れるようにして実習環境を整えていく。</p> <p>・今後もできるだけ専門性を第一に教員を配置するとともに、専門領域の実習指導でなくても領域担当の教員に相談しながら質の高い実習指導が継続できるように努める。</p>	
	臨地実習の計画的遂行・調整	・学生が実習しやすいように実習を計画・調整しているか。	4.2			
	実習指導要項の作成	・実習への動機づけになるような指導要項を作成しているか。	4.2			
	臨地実習の担当・時間数	・教員の専門性が発揮出来るように担当場所、時間数を配分しているか。	4.0			
	実習指導方法の工夫	・教員が実習指導準備の時間が取れる体制を整えているか。	3.8			
		・教員が自己研鑽し、指導方法を工夫できる体制を整えているか。	3.8			
実習評価	・教員は実習評価を行い、指導方法を改善しているか。	4.0				
特別活動	学校行事	・学生や教員が参加しやすい日程、時期を計画し指導しているか。	3.8	<p>・特別活動についての評価は低下している。コロナの影響で従来の活動ができなかったが、縮小し、感染対策をしながら行った。</p>	<p>・2年間特別活動を縮小して活動したため、在学生が従来の活動を知らない状況である。従来の状況に戻った場合は、新たに支援していく。</p>	
	自治会活動、H・R活動	・学生や教員が参加しやすい日程を計画し指導しているか。	3.8			
成績評価	成績評価の方針と基準	・学生に成績評価の方針と基準を公表し、周知しているか。	4.2	<p>・昨年度よりも評価が下がっている。令和元年よりルーブリック評価を行い、公平な評価になるよう努めている。</p>	<p>・ルーブリック評価を継続し、活用し改善していく。</p>	
単位認定	単位認定の方針と基準	・学生に単位認定の方針と基準を公表し、周知しているか。	4.2			
VI. 学校環境						
施設設備	校舎の設備と管理	・定期的に点検し、適正な整備を行っているか。	4.0	<p>・新型コロナウイルス感染症対策等が求められる中、定期的換気などなされているが、教室の広さはぎりぎり、机間の距離は、比較的近い。</p>	<p>・施設設備、実習設備については、全ての項目で4.0以上の評価を受けた。定期的な点検や、計画に基づく修繕等行いながら環境整備と美化に努めている。</p> <p>・新型コロナウイルス対策について、教室の広さについては制約があり広さを調整することは難しいが、学生間の距離を保つ工夫が不十分であることに対してご指摘頂いた。</p>	<p>・教室内の感染防止策については、換気や共有部分の消毒の徹底に加え、学生間(机間)の距離が確保できるよう、机の並べ方や配置等検討する。</p>
	学生寮の設備と管理	・定期的に点検し、適正な整備を行っているか。	4.2			
	美化対策	・校舎及び庭等の美化対策に努めているか。	4.4			
実習施設	実習用品の整備	・実習用品を定期的に点検し、適正な整備を行っているか。	4.0			
	学生控室等の整備	・備品等を定期的に点検し、適正な整備を行っているか。	4.0			

VII. 組織・管理・運営				
組織体制の整備	・組織体制と意思決定システムを明確に規定しているか。	4.4	<p>・現場に即した知識や技術を習得する上で、教員の臨床能力の維持は今後も必要だと思う。</p> <p>・図書の利用に関しては、貸出数だけでなく、利用者数・利用頻度等が解るとよいかもしれない。また、ネット上での情報もあり、書籍を活用している状況の把握もできるのではないかと思う。</p>	
教員人事の適正配置	・教職員の任用の考え方を明示しているか。	4.2		
職員の業務分掌	・職員の業務分掌を明示し、周知しているか。	4.2		
講師・実習指導者の確保	・講師・実習指導者の選定の考え方を明示しているか。	4.2		
予算・経理	予算要求	・要求項目を精査し、要求金額を明らかにするなど、合理的な予算要求に努めているか。		4.2
	庶務・経理	・法令・規則等を遵守し、適切な予算執行に努めているか。		4.2
		・迅速な事務処理に努めているか。		4.2
事故の対策と安全管理	・事故の対策と安全管理の考え方を明示し、周知しているか。	4.2		
会議、委員会の運営	・会議・委員会の規定に基づき、運営しているか。	4.2		
学籍の管理	・学籍の管理の方法を規定し、適正に管理しているか。	4.2		
国家試験合格状況	・国家試験合格状況を分析し、整理しているか。	4.4		
卒業生の進路	・卒業生の進路状況を分析し、整理しているか。	4.4		
VIII. 研修・研究				
教職員の研修等活動	・教職員の資質向上のための研修等への積極的参加について支援しているか。	4.2	<p>・研修等の活動については、4.0点以上の高い評価を頂いた。コロナ禍であり、実習指導者との合同研修の実施も中止せざるを得ない状況となったが、FD研修として、ICTを活用した教育方法についての研修等臨機応変に実施している。</p> <p>・自主研修については、Webを活用して参加する機会が増えており、コロナ禍でも自己研鑽を継続できる環境も整いつつある。</p>	
IX. 社会との連携				
地域社会との連携と交流	・地域住民や施設との連携や交流について積極的に支援しているか。	3.6	<p>・地域交流が中止となることが多く残念であったが、今後も継続していけるよう連携を取りながら時を待ち、また良い場がもてることを願っている。</p> <p>・コロナ禍で、地域での活動に制限があると思うが、できる範囲で継続していけたらと思う。</p>	
実習施設との連携と交流	・積極的に実習施設との連携や交流を行っているか。	4.4	<p>・実習担当者との会議は定期的開催され、意見交換ができています。講義との兼ね合いもあると思うが、今後とも実習中の現場での担当者との連携を取り、実習が行えることを希望する。</p>	
X. 学校評価				
自己点検・自己評価体制	・自己点検・自己評価体制について規定しているか。	4.4	<p>・自己点検自己評価、学校関係者評価を実施する体制を整えていることをご評価いただいた。</p>	
	・自己点検・自己評価し改善しているか。	4.2		